社会新報
植田好雄版

【発行所】　社会民主党全国連合機関紙宣伝局
（週間水曜日発行）
〒104-0043　東京都中央区湊3-18-17マルキ榎本ビル5F
電話代表03(3553)3787　振替00140-1-3203　●定価180円●1ヵ月700円●送料164円

【分局】
島根県江津市敬川町937-3
2020年　10月
N012

【発行責任者】
植田　好雄
TEL(Fax)　0855-52-7837

E-mail：yosio@helen.ocn.ne.jp
ホームページ
http://www.uedayoshio.net/

急がれる災害に強いまちづくり

7月13・14日の豪雨は、2年前の被害から復旧も癒えない中、無堤防地域でまたもや浸水被害となった。コロナ禍の豪雨災害により、感染症対策と合わせて災害復旧対策が求められ、8月21日第4回臨時議会が開催され、災害関連の専決処分とコロナ対策の補正予算が提案された。

第5回9月定例議会は、9月1日～24日の24日間で行われた。今議会では、請願1件、条例議案2件、補正予算（一般会計と特別会計など）7件、決算認定7件などの提出議案や常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の選任など行われ、新たな委員長、副委員長が選出された。又、延期となっていた、議長・副議長選挙（任期は委員会条例及びそれに基づく「申合せ事項」では2年、地方自治法は任期4年）は、議長が突然に「辞職しない」と表明し、引き続き留まる事となった。これは、保守系会派の中で、調整が出来なかった事が一つには大きな理由と言えます。（「市議会だより」11月号も是非参照されたい）

第4回臨時議会を開催

豪雨災害と新型コロナ対策

無堤防地区で、2年前も浸水被害を受け、早急な対策が求められる

8月21日第4回臨時議会は、7月豪雨被災者対策や復旧工事など3件の専決処分と新型コロナ対策補正予算が提案された。

■専決処分は、★農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）は、処理区の中継ポンプの浸水被害による操作盤・制御盤の復旧費に8349万円で補正後予算額3億5977万円。★一般会計補正予算（第5号）は、被災者生活再建支援金、農業機械や店舗の修繕助成金、災害ゴミ処理費、市道、河川、公園、農林施設の修繕、復旧工事費などに、2億5496万円で補正後総額197億6919万円。★一般会計補正予算（第6号）は、農業施設42か所、農地15か所の災害復旧費に、4280万円で補正後総額198億1199万で、3件とも承認された。

■一般会計補正予算（第7号）は、新型コロナウイルス感染症対応予算で、歳入は13億6404万円を追加、予算総額は211億7604万円。主には▼光ファイバー整備、▼出生児特別定額給付事業（令和2年4月28日以降の出生児に1人10万円の給付）、▼商業・サービス業感染症対応支援事業補助金、▼学校ICT環境整備事業などで、委員会付託は省略され、質疑の後、即決採決で可決した。

常任、議運、特別委員会委員長・副委員長を決める

追加日程で、議長・副議長選挙の予定が、議長から「辞職願」が提出されず、9月定例会に持ち越され、常任、議運、特別委員会の選任と委員長・副委員長の選挙のみ行った。

植田好雄は、建設経済委員会の副委員長に選出された。その他、議会運営委員会、市庁舎建設調査特別委員会、市議会だより編集特別委員会の所属となった。

第5回9月定例議会

定例9月議会は、令和元年度の歳入歳出決算の認定、条例改正、一般会計・特別会計の補正予算、請願（1件）や意見書（3件）などの審議を行った。

10日午前に総務民生委員会、午後に建設経済委員会を開催した。今議会から、予算決算委員会（議長、監査委員除く全議員）となり、11日予算委員会、14日～17日決算委員会を行った。

決算審議に当たっては、市民クラブで決算書の勉強会を行い、現地調査3か所、資料要求62項目を求め質疑を通告した。

市職労から出された、請願「地方財政の充実・強化を求める意見書」は、紹介議員である説明員として、付託された総務民生員会で質疑に対して答弁に立った。

補正予算は

補正予算額は2億2217万円で補正後総額213億9821万です。現地調査は、すでに改修が終わった、郷田小学校屋体床束補修と青陵中雑用水ポンプと飲料水ポンプ取替の2か所の現場を確認した。

青陵中の取替たポンプ

束の改修前の床下の状態

「議決前の予算執行は議会軽視では」の指摘に、「急を要する事業であった」との事でした。

補正の主なものは、▼「財産管理費」1353万円（分庁舎リース期間満了による建物買取費）▼「普通財産管理費」3979万円警察官舎建設予定地購入費（市が購入後県に売り渡し）▼「新庁舎建設事業」6770万円（計画変更と周辺工事）▼「地域雇用活性化推進事業」1500万円▼「地域医療支援対策費」1222万円（市役所の地域包括支援センターを済生会病院に移転・設置の費用補助）などとなっています。

来春新庁舎完成に向け3階部分の基礎工事中

討論では、「新庁舎建設費用が含まれている。コロナ禍で市庁舎機能を済生会へ一部移転は矛盾であり反対」「決算による繰越金や返還金を計上、小中学校の維持補修費の増額など計上されており賛成」と言うもので、植田好雄は「必要な予算措置」との立場で補正予算には賛成をしました。

第34回反核平和の火リレー

8月5日、江津市役所前にて、要請を行う（植田は右から二人目）

福島原発事故から9年が経過、いまだ収束の見通しは立っていない。汚染水処理問題や除染、労働者の被爆など問題は深刻化している。

「核と人類は共存は出来ない」被爆の実相を風化させず、再び核の惨禍を繰り返さないために、反戦・反核・平和運動の更なる強化が求められている。

令和元年度決算を認定

歳入歳出決算は、収支の締めくくりであり、住民の福祉の向上にどれだけの行政効果、経済効果をもたらしたか、予算通りに執行されたのか審議を行った。

一般会計は、歳入総額176億6070万円（前年度比12.8％増）、歳出総額172億3718万円（前年度比14.5％増）となっている。62項目の質疑を行い執行状況をチェックした。

自主財源は約32％で、新庁舎建設や防災行政無線デジタル化事業の大型事業は依存財源に頼らざるを得ない。更に災害対策や子育て支援の充実、医療の充実を求める面もありますが、限られた財源を適切に執行されており、植田好雄は決算について賛成をしました。

国民健康保険や公共下水道など5件の特別会計と水道事業会計についても賛成し、認定された。

補正予算の追加提案

議会最終日、一般会計補正予算（第9号）8420万円（補正後総額214億8242万円）が提案された。■「新型コロナ対策」では、★地域公共交通事業者特別支援金★保育施設従事者と放課後児童クラブ従事者に対する応援協力金★プレミアム付飲食券販売事業補助金★宿泊喚起対策支援事業などで、■「災害対策」では★建築物解体にかかる業務委託料などで、委員会付託は省略され、即決で採決されました。

議長・副議長選は行わず

辞職しない理由は、コロナ禍、市内経済の下落、7月災害に対応との事の様です。9月議会での議長交代の流れはあったが、政友クラブ（保守系会派）内で一本化が不調に終わり、その結果、9月議会では政友と新政、二つの会派に分かれています。委員会条例に基づく任期2年の「申合せ事項」（これも問題あり）が反故にされ、今後「申合せ事項」の見直しなどの対応が求められます。

請願、意見書を採択

◆市職労提出の請願「地方財政の充実・強化を求める意見書」◆議会提出❶「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書」❷「国土強靱化、老朽化対策を含む地方の社会資本整備の推進を求める意見書」❸「江の川治水の早期実現を求める意見書」を採択。地方自治法第99条の規定により意見書が提出されます。